

187 脂 肪 壊 死 症

担当	検 査 チ ャ ー ト			
家畜保健衛生所	(1) 疫学調査 (2) 臨床検査 (死亡畜、と畜等)→(3) 剖 検			
病性鑑定施設	(4) 超音波画像検査 (5) 病理組織検査 (+)(-)(+)(-)			
判定・結果	(+)	(-)	(+)	(-)
最終判定	判定は総合的に判断する。			
その他				

→類似疾病検査

- ① 16 牛白血病 ② 結核性腹膜炎 ③ 子宮癒着 ④ ミイラ胎子 ⑤ (妊娠)

(1) 疫学調査

- ① 黒毛和種雌牛(3 歳以上)、特に肥満牛に発生しやすい。
② 遺伝的要因(肉質の良い系統に多発)

(2) 臨床検査

- ① 食欲不振・廃絶
② 便秘、下痢、血便
③ 疝痛、鼓脹
④ 症状が進行するにつれて、排糞は少量頻回、糞形は小塊となる。
⑤ 骨盤腔内の直腸周辺や腹腔内の円盤結腸、腎周囲の脂肪壊死塊を触診する(直腸検査)。

(3) 剖 検

- ① 大網、腸間膜、後腹膜における脂肪壊死塊形成
② ときに筋間および皮下組織における脂肪壊死塊形成

(4) 超音波画像検査

可能ならば、超音波診断装置により脂肪壊死塊を確認する。

(5) 病理組織検査

脂肪細胞の壊死。マクロファージ巨細胞浸潤(細胞質は壊死した脂肪細胞に由来する脂溶性針状結晶物中に細長く伸長)、間質の線維化を伴う。針状結晶物はズダンブラック B で暗青色に、ズダンⅢでは赤橙色に染まる。